

平成26年度 安芸地域アクションプラン（案）項目対比表

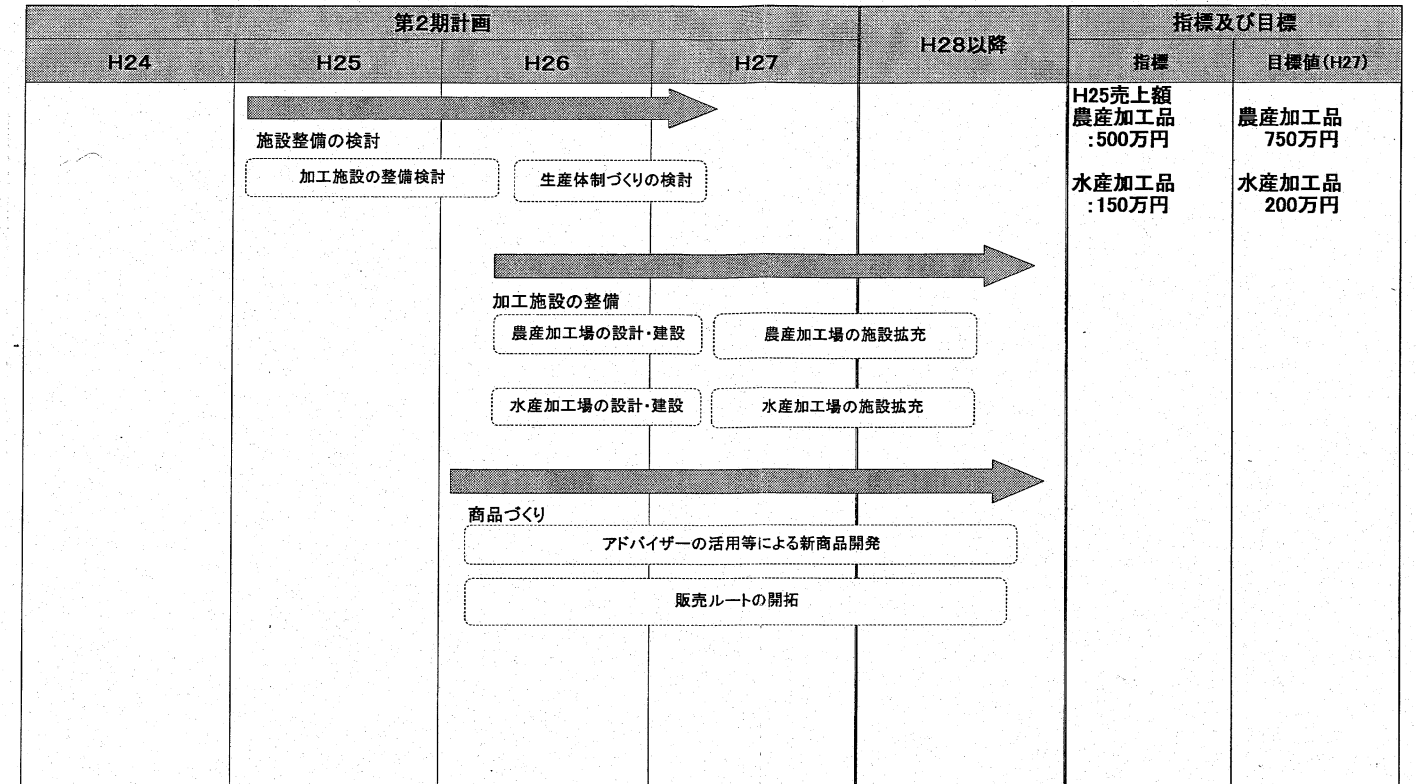
【安芸地域】

No.	現在(平成25年度)	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	No.	改定案(平成26年度)					
		10	7	7	5	8	8	6	5	6			9	8	7	7	9
1	ナス産地におけるまとまりづくりとブランド化の推進	●	●	●	●	●	●	●		●	1	ナス産地におけるまとまりづくりとブランド化の推進					
2	ユズを中心とした中山間振興	●	●				●	●	●		2	ユズを中心とした中山間振興					
3	ポンカンを活用した新商品の開発と販路の拡大			●							3	ポンカンを活用した新商品の開発と販路の拡大					
4	「安田(あんた)の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発						●				4	「安田(あんた)の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発					
5	エディブルフラワーを活用した新商品の開発と販路の拡大									●	5	エディブルフラワーを活用した新商品の開発と販路の拡大					
6	白下糖の生産の拡大と新商品の開発									●	6	白下糖の生産の拡大と観光への活用					
7	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化	●		●							7	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化					
8	木質バイオマス活用の促進		●							●	8	木質バイオマス活用の促進					
9	林業加工品の販売の促進								●		9	林業加工品の販売の促進					
10	キンメダイのブランド化に向けた取組	●		●	●						①統合	10	芸東地域の水産物の付加価値の向上と販路の拡大				
11	水産加工の促進と販路の拡大	●									①統合	11	加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上				
12	加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上		●								②拡充	12	海洋深層水の利用拡大				
13	海洋深層水の利用拡大	●									②拡充	13	安芸市の地域食材を活用した商品づくりの推進				
14	酒粕等を活用した新商品の開発と販路の拡大					●	●				①追加	14	地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進				
15	完全天日塩の生産の拡大と観光への活用					●					③拡充	15	田野町の地域資源を活用した新商品の開発と販路の拡大				
16	キラメッセ室戸「楽市」の機能強化	●									③拡充	16	完全天日塩の生産の拡大と観光への活用				
17	道の駅「田野駅屋」の機能強化(特産品開発及び情報発信)と施設整備等					●					●	17	キラメッセ室戸「楽市」の機能強化				
18	地場産品直販所「かつば市」の機能強化									●		18	海の駅を拠点とした地域振興				
19	安芸地域における広域観光の振興	●	●	●	●	●	●	●	●	●		19	道の駅「田野駅屋」の機能強化(特産品開発及び情報発信)と施設整備等				
20	世界ジオパーク認証を活かした観光の振興	●									●	20	地場産品直販所「かつば市」の機能強化				
21	イルカのふれあい体験による交流人口の拡大	●									●	21	安芸地域の観光振興の推進～東部地域博覧会の開催～				
22	岩崎弥太郎と地域食材を活用した観光の振興		●								●	22	世界ジオパーク認証を活かした観光の振興				
23	スポーツキャンプのまちづくり		●								●	23	イルカのふれあい体験による交流人口の拡大				
24	海の駅を拠点とした地域振興			●							●	24	岩崎弥太郎生家を核とした観光振興				
25	マリンスポーツ体験拠点づくり			●							●	25	東洋町における体験観光の推進				
26	中芸地区における広域観光の推進				●	●	●	●	●		③追加	26	藤村製糸を活用した観光振興				
27	魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大				●	●	●	●	●		⑤拡充	27	中芸地区における広域観光の推進				
28	体験型観光と地域の加工品づくりの推進 ～大野台地は、えいところ！～					●					⑤拡充	28	魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大				
29	安田中山地区の活性化プロジェクト						●					29	体験型観光と地域の加工品づくりの推進 ～大野台地は、えいところ！～				
30	世界に2つの「モネの庭」の誘客強化による交流人口の拡大						●					30	世界に2つの「モネの庭」の誘客強化による交流人口の拡大				
			●								④追加	31	集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり				
								●			⑥拡充	32	安田中山地区の活性化プロジェクト				
									●		⑤追加	33	北川村温泉を核とした中山間振興				
									●		⑥追加	34	馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト				

追加項目(案)  
【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果	課題	主な内容
14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進 【奈半利町】	地域資源を活用した加工品をつくる施設を整備することにより、地域特産品の生産と販路の拡大を図るとともに地域の生産者の収入の安定化を目指す。	・奈半利町 ・奈半利なんでも市加工グループ ・いちじく加工品グループ ・加領郷漁協女性部	○奈半利なんでも市加工グループを設立(H19)し、奈半利味噌を中心に加工品の製造、販売を開始 ・商品数:3品(奈半利味噌、にんにく酢味噌、焼肉のたれ) ・取引先:まるごと高知ほか9社及び個人(H24)  ○いちじく加工品グループは、奈半利町の特産品のいちじくの加工品を製造・販売。 ・商品:ジャムやゼリーなどの菓子類 ・販売場所:奈半利駅直販所ほか町内外の数カ所  ○加領郷地区加工グループ(加領郷漁協女性部)は、加領郷漁港に水揚げされる水産物を使った加工品や惣菜をつくり、町内外で販売 ・商品等:金目鯛炊込みご飯、船上天日干しスルメイカ、惣菜など ・販売場所:加領郷漁民センター、サニーマートほか、出張販売(役場ほか、イベント会場等) ・土佐の料理传承人に認定	・現在使用している加工場の老朽化と狭隘化のため、増産などの新たな展開に対応できない ・新商品の開発 ・生産拡大のための人材確保	◆施設整備の検討  ◆加工施設の整備  ◆商品づくり

追加



追加項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果	課題	主な内容
24 岩崎弥太郎生家を核とした観光振興  【安芸市】	岩崎弥太郎生家エリアや土居郭中エリアを観光拠点として磨き上げを実施し、交流人口の拡大による安芸市の経済の活性化を図る。	・安芸市 ・安芸市観光協会 ・「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会 ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・民間事業者	・土佐龍馬であい博での、ころざし社中開催(H22入場者、113千人、目標100千人) ・ボランティアガイドの育成(40名)(H21~H23) ・H23.3、安芸観光情報センターの設置 ◆ボランティアガイドの力量アップや観光に係る人材が育成されてきた。	◆岩崎弥太郎を活かした取組の強化	◆岩崎弥太郎生家等の観光資源の磨きあげ  ◆三菱グループとの連携による岩崎弥太郎の顕彰とPR  ◆安芸観光情報センターの機能強化  ◆観光ビジョンの策定

追加

H24	第2期計画			H28以降	指標及び目標	
	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)

追加項目(案)  
【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果	課題	主な内容
26 藤村製糸を活用した観光振興 【奈半利町】	藤村製糸を活かした観光振興をなはり浦の会とともに 交流人口の拡大を図る。	・藤村製糸 ・なはり浦の会 ・奈半利町 ・なはり観光文化協会	<p>&lt;藤村製糸&gt; ・大正6年(1917年)創業開始、奈半利町の地場産業の象徴として生糸文化や歴史を訪したが、平成17年(2005年)操業を停止。平成19年、近代化産業遺産(経済産業省指定)に建物の一部(西蔵、東蔵、倉庫、石塀)を登録。工場建物のうち、西蔵、石塀を残して事業所建物を解体(H25.12)し、跡地へ新規に太陽光発電事業を展開。事業所敷地の一部に生糸産業と奈半利町の歴史等を展示する、観光文化施設(記念館)の整備を計画(H26.10)</p> <p>&lt;なはり浦の会&gt; ・平成11年、なはり浦の会を設立(森美恵会長、会員数:45名)奈半利町に訪れる観光客に対して、藤村製糸や町内に残る古民家を案内する町歩きガイドに取組んでいる。(ガイド実績:H24、390人)</p>	<p>・企業所有の施設運営やガイド組織の活動と町の観光施策のそれぞれの連携</p> <p>・ガイド組織の活動拠点の整備</p> <p>・製糸産業の展示物以外の展示物の充実</p> <p>・奈半利町の歴史や文化等の効果的な情報発信</p>	<p>◆観光文化施設(記念館)の整備</p> <p>◆ガイド組織の活動強化</p> <p>◆地域観光資源の発掘、磨き上げ</p> <p>◆情報発信</p>

追加

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	<p>観光文化施設(記念館)の整備</p> <p>整備内容の検討</p> <p>施設の整備</p>	<p>観光文化施設(記念館)の整備</p> <p>施設の整備</p>			町並みガイド実績	800人/年
	<p>ガイド組織の活動強化</p> <p>活動拠点の検討</p> <p>活動拠点の整備</p> <p>ガイド組織の法人化の検討</p> <p>活動地域、活動内容の拡大の検討 (関係機関等とのガイドスキルアップ勉強会・交流会の開催)</p>	<p>ガイド組織の活動強化</p> <p>活動拠点の整備</p> <p>ガイド組織の法人化の検討</p> <p>活動地域、活動内容の拡大の検討 (関係機関等とのガイドスキルアップ勉強会・交流会の開催)</p>			H24、390人	
	<p>地域観光資源の発掘、磨き上げ</p> <p>施設展示内容の検討・町内観光資源調査</p>	<p>地域観光資源の発掘、磨き上げ</p> <p>施設展示内容の検討・町内観光資源調査</p>				
	<p>情報発信</p> <p>東部博覧会開催に併せた施設PR</p> <p>観光文化施設や町並みガイド等、奈半利町をパンフレットやホームページ等でPR</p>	<p>情報発信</p> <p>東部博覧会開催に併せた施設PR</p> <p>観光文化施設や町並みガイド等、奈半利町をパンフレットやホームページ等でPR</p>				



追加項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果	課題	主な内容
31 集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり 《安芸市》	安芸市東川地区の資源を活用した新商品の開発や、農産物の販路の拡大を通じて所得の向上を図るとともに、交流人口の拡大や移住促進の取り組みを通じて、持続可能な集落づくりを目指す。	・東川地域おこし協議会			◆地域資源を活用した新商品の開発  ◆農産物等の販路拡大  ◆交流人口の拡大と移住促進への取り組み

追加

H24	第2期計画				指標及び目標	
	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	<p>地域資源を活用した新商品の開発</p> <p>◆地域資源を活用した新商品の開発</p> <p>→</p> <p>新商品の試作      商品化      販売促進</p>					
	<p>農産物等の販路拡大</p> <p>◆農産物等の販路拡大</p> <p>→</p> <p>販売ツールづくり      庭先集荷等による農産物の通販と集活センターでの直売</p>					
	<p>交流人口の拡大と移住促進への取り組み</p> <p>◆交流人口の拡大と移住促進への取り組み</p> <p>→</p> <p>フェイスブック等を通じた情報交換、東川地区ファンづくり、交流イベントの拡充</p> <p>空き家の掘り起こしと施設改修等</p> <p>農業研修生の受け入れ、移住・定住の斡旋等</p>					

追加項目(案)  
【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果	課題	主な内容
33 北川村温泉を核とした中山間振興 《北川村》	北川村温泉の建築に併せ、地域の集落活動の拠点を整備することにより、交流人口の拡大と地元農産物の直販などの集落活動を拡大することで中山間地域の振興を図る。	・北川村 ・北川村中部地区集落活動協議会 ・北川村観光協会	○昭和49年、林業振興の拠点施設として北川村温泉を整備。 平成19年、北川村の施設運営を指定管理((株)カゴオ)に移行。 ・H24年度来場者 宿泊者数 5,463名 入浴者数 17,731名  ○平成24年7月、和田・小島・平鍋地区の住民で組織する北川村中部地区集落活動協議会を設置 北川村温泉内で直販市を試行(H24.7～、土日開催) ・休耕田対策として、協議会員による耕作や花(レンゲやチューリップ)を植えて誘客事業に着手。	・老朽化(S49築)した温泉施設は、耐震基準を満たしておらず、バリアフリー化もされていない。 ・宿泊室全11室のうち、6室にトイレ・洗面所施設が無い ・温泉までの交通アクセスが悪い(頻繁に沿線で落石等が発生) ・集落活動協議会の活動の場が少ない	◆温泉施設の整備  ◆情報発信  ◆地域交流活動、集落活動の展開

追加

H24	第2期計画			H28以降	指標及び目標	
	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
					来場者 H24 宿泊: 5,463人 入浴: 17,731人	H24年比10%増 宿泊: 6,000人 入浴: 19,500人

追加項目(案)  
【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果	課題	主な内容
34 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト 【馬路村】	馬路村魚梁瀬地区の資源と人材を有機的に結合させ、交流人口の拡大と新ビジネスの創出を目標とした事業を展開する。	・馬路村 ・魚梁瀬地区住民 団体(自治会)			◆外部人材の導入と住民組織づくり  ◆今までにない視点からの交流拠点の実現  ◆丸山公園等の観光素材の磨き上げ

追加

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
		外部人材の導入と住民組織づくり 高知ふるさと応援隊の募集 地域住民、小学校、村役場と協同して地域活性化の組織作りとその運営				
		今までにない視点からの交流拠点の実現 土佐MBA等を活用した、新たな人材の発掘と育成 産業振興アドバイザー等を活用して交流拠点のプラン作成。高知ふるさと応援隊と協同しての活動を開始、施設整備				
		丸山公園等の観光素材の磨き上げ 観光素材としての現況調査 安芸広域博覧会を活用した新たな事業の展開と、その成果を基礎とした活動の実施				

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
6 白下糖の生産の拡大と新商品の開発 【芸西村】	伝統ある芸西村の白下糖づくりを伝承し、白下糖の生産拡大と新たな加工品を開発・販売することにより、白下糖のブランド化(認知度アップ)と地域生産者の所得向上を目指す。	・芸西村 ・芸西村製糖組合 ・生産者グループ			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆サトウキビ作付け面積の拡大</li> <li>◆技術を継承する人材の育成</li> <li>◆白下糖の品質向上</li> <li>◆新たな商品の企画開発</li> </ul>

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
サトウキビ作付け面積の拡大					サトウキビ収穫量(H22:20t)	40t
遊休農地の有効活用						
技術を継承する人材の育成					製造技術の習得、その他関連する研修等への参加	
人材の確保						
白下糖の品質向上					施設整備	
味で勝負するための製品づくり ・成分分析による他との区別 ・アドバイザーの導入 他						
新たな商品の企画開発					新商品の開発・販売開始	
地域資源共有会議等を活用した新商品の検討						



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
サトウキビ作付け面積の拡大					サトウキビ収穫量(H22:20t)	40t
遊休農地の有効活用・新規生産者の確保						
技術を継承する人材の育成					製造技術の習得、その他関連する研修等への参加	
人材の確保						
白下糖の品質向上					施設整備	
味で勝負するための製品づくり ・成分分析による他との区別 ・アドバイザーの導入 他						
新たな商品の企画開発					新商品の開発・販売開始	
地域資源共有会議等を活用した新商品の検討						
白下糖を活用した体験観光メニューの検討					体験観光メニューの検討	体験観光受入れ
体験メニュー受入のための伝承館の改修の検討・改修						



修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
10 キンメダイのブランド化に向けた取組 【室戸市、東洋町、奈半利町】	将来的に地域ブランドとして確立することを見据え、消費拡大と販売を促進する。	・芸東水産業改良普及協議会	・キンメダイブランド化作業部会設置及び検討(H21~22) ・脂肪含有量の測定(H21~22) ・アドバイザーを活用した市場調査(H22) ・測定キンメを使った料理レシピ等の販促資料の作成(H22) ・産地交流会への参加(H23)  ◆「土佐沖どれ金目鯛」のブランド名で関西市場をメインターゲットとして売り込みを開始	・関西圏を中心としたキンメダイの効果的なPR活動の実施	◆県内市場及び県外市場の販路拡大    ◆商品力の維持・向上
<b>統合前①</b>					
11 水産加工の促進と販路の拡大 【室戸市】	高知県内で漁獲される水産物の県内加工を強化し、魚価の安定化と県内における産業としての水産加工業の強化育成を図る。	・術タカシン水産 ・高知県漁協	・水産加工施設(室戸工場)を整備(シメサバを中心)、操業開始雇用11名(H21~23) ・キンメの許じめ等サバ以外の魚種での商品開発着手(H22)  ◆加工生産技術が向上し、安定した品質と生産量が確保され取引先が順調に増加してきている。	・新たな魚種を使った商品の開発 ・大口の安定取引先の確保 ・更なる生産性の向上	◆高知県漁協等と加工業者が連携した水産加工品の商品開発、販売戦略の検討  ◆生産性向上の取組   ◆商品開発、販売促進活動の実施
<b>統合前②</b>					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果		課題	主な内容
			これまでの取組みと成果	課題		
10 芸東地域の水産物の付加価値の向上と販路の拡大 【室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町】	キンメダイや定置漁獲物など、地域の主要魚種について鮮魚販売、加工品販売の強化を図る	【鮮魚】 ・芸東水産業改良普及協議会  【加工品】 ・術タカシン水産 ・高知県漁協	・キンメダイブランド化作業部会設置及び検討(H21~22) ・脂肪含有量の測定(H21~22) ・アドバイザーを活用した市場調査(H22) ・測定キンメを使った料理レシピ等の販促資料の作成(H22) ・産地交流会への参加(H23)  ◆「土佐沖どれ金目鯛」のブランド名で関西市場をメインターゲットとして売り込みを開始	・関西圏を中心としたキンメダイの効果的なPR活動の実施	◆県内市場及び県外市場の販路拡大    ◆商品力の維持・向上	
<b>統合後</b>						

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
県内市場及び県外市場の販路拡大					平均単価(H20~22平均: 1,146円/kg)	1,200円/kg
室戸産キンメダイのPRとキンメダイの消費拡大 ・県漁協による直接取引の拡大 ・消費地市場関係者との人的関係を活用した、取引の拡大 ・マリン・エコーベル認証取得を活用した消費拡大活動の推進						
商品力の維持・向上						
・鮮度保持技術の向上 ・規格の統一						
高知県漁協等と加工業者が連携した水産加工品の商品開発、販売戦略の検討					加工品販売金額(H22:4,700万円)	12,000万円
・高知県漁協等と加工業者が連携した水産加工品の商品開発、販売戦略の検討、加工品製造販売、販路開拓 ・アドバイザーの招聘による商品開発と販売戦略の検討						
生産性向上の取組						
加工原料の安定確保に向けた調達方法の検討						
商品開発、販売促進活動の実施						
・大量生産・安定供給可能な看板商品の確立 ・マグロ類の加工促進と販路開拓						



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
県内市場及び県外市場の販路拡大					(キンメダイ)平均単価(H20~22平均: 1,146円/kg)	1,200円/kg
・室戸産キンメダイのPRとキンメダイの消費拡大 ・定置漁獲物など地域の主要魚種のPR活動の実施					(大数漁獲物)水揚金額(H22~24平均: 13.3億円)	15億円
・県漁協による直接取引の拡大 ・消費地市場関係者との人的関係を活用した、取引の拡大 ・マリン・エコーベル認証取得を活用した消費拡大活動の推進 ・高鮮度を「売り」としたPR活動の展開						
商品力の維持・向上						
・鮮度保持技術の向上 ・規格の統一 ・活魚出荷や高鮮度処理の実施等による付加価値の向上						
高知県漁協等と加工業者が連携した水産加工品の商品開発、販売戦略の検討					加工品販売金額(H22:4,700万円)	12,000万円
・高知県漁協等と加工業者が連携した水産加工品の商品開発、販売戦略の検討、加工品製造販売、販路開拓 ・アドバイザーの招聘による商品開発と販売戦略の検討						
生産性向上の取組						
加工原料の安定確保に向けた調達方法の検討						
商品開発、販売促進活動の実施						
・大量生産・安定供給可能な看板商品の確立 ・マグロ類の加工促進と販路開拓 ・低利用・未利用の混獲魚を利用した加工品の開発 ・有望資源の見直しによる、新たな商品の開発 ・観光と連携した地元看板メニュー創出のための商品開発						



修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
22 岩崎弥太郎と地域食料 を活用した観光の振興 (安芸市)	「岩崎弥太郎」をより一層売り出しながら、また安芸の安心・安全な地域食料を活用し、新たな加工品の開発と既存商品の磨き上げを行うことで、交流人口の拡大による安芸市の経済の活性化を図るとともに、生産者の所得の向上を目指す。	・安芸市 ・生産団体・グループ ・民間事業者・加工業者 ・安芸市観光協会 ・「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会 ・安芸「釜あげちりめん丼」業会 ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・JA土佐あき婦人部 ・入河内大根のこそう会	・ボランティアガイドの育成(40名)(H21~H23) ・新たな特産品の開発(8品目)(H21~H23) ・ころざし社中入場者(H22目標100千人→実績113千人) ・安芸観光情報センターの設置(H23.3) ◆ボランティアガイドの力量アップや観光に係る人材が育成されてきた。地域食料を活かした(ナス、シラス)食の提供の動きにつながっている。	・岩崎弥太郎を活かした取組の強化 ・地域食料を活用した加工品の開発と販売 ・食の提供の強化	◆岩崎弥太郎の顕彰とPR (三菱グループとの連携強化)  ◆地域食料の売出しと素材を活用した加工品の開発・販売拡大  ◆B級グルメ大会等でのPR活動  ◆地域食料を提供する施設の検討・整備  ◆生産体制の強化及び生産施設の充実

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果		主な内容
			総括	課題	
13 安芸市の地域食料を活用した商品づくりの推進 (安芸市)	安芸の安心・安全な地域食料を活用し、新たな加工品の開発と既存商品の磨き上げを行うことで、交流人口の拡大による安芸市の経済の活性化を図るとともに、生産者の所得の向上を目指す。	・安芸市 ・生産団体・グループ ・民間事業者・加工業者 ・安芸市観光協会 ・「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会 ・安芸「釜あげちりめん丼」業会 ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・JA土佐あき婦人部 ・入河内大根のこそう会	・土佐龍馬であい博でのころざし社中開催(H22入場者:113千人、目標100千人) ・ボランティアガイドの育成(40名)(H21~H23) ◆ボランティアガイドの力量アップや観光に係る人材が育成されてきた。地域食料を活かした食の提供の動きにつながっている。 ・安芸観光情報センターの設置(H23.3) ・新たな特産品の開発(8品目)(H21~H23) ◆JA土佐あき婦人部「商人塾」受講などにより、なすまんの生産増(人材育成)、販路拡大に向けた動きにつながっている。	・地域食料を活用した加工品の開発と販売 ・食の提供の強化	◆事業者と連携した地域食料を活用した商品の開発や販路の拡大  ◆生産施設や飲食施設等の整備  ◆人材の発掘と育成等

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
岩崎弥太郎の顕彰とPR (三菱グループとの連携強化)						
三菱グループとの連携による岩崎弥太郎生家等の観光拠点と安芸の食材とを組合せたツアー等の実施						
地域食料の売出しと素材を活用した加工品の開発・販売拡大						
ナス・ユズ・土佐ジローなどを活用した新たな加工品の開発・販売 販路拡大 情報発信						
釜あげちりめん丼をはじめとする地域食料活用商品のブラッシュアップ 提供店舗の拡大・広報・営業活動						
B級グルメ大会等でのPR活動						
各種団体を横断した地域食料に関する検討 地域食料を活用したメニュー・料理コンテストの実						
県内外に向けた情報発信 各種大会への参加体制の強化						
地域食料を提供する施設の検討・整備						
安芸の地域食料を提供する施設(レストラン等)の検討及び整備						
生産体制の強化及び生産施設の充実						
地域食料を活用した生産体制の強化に関する検討及び整備(加工場の規模拡大、冷凍庫等の整備 他)						

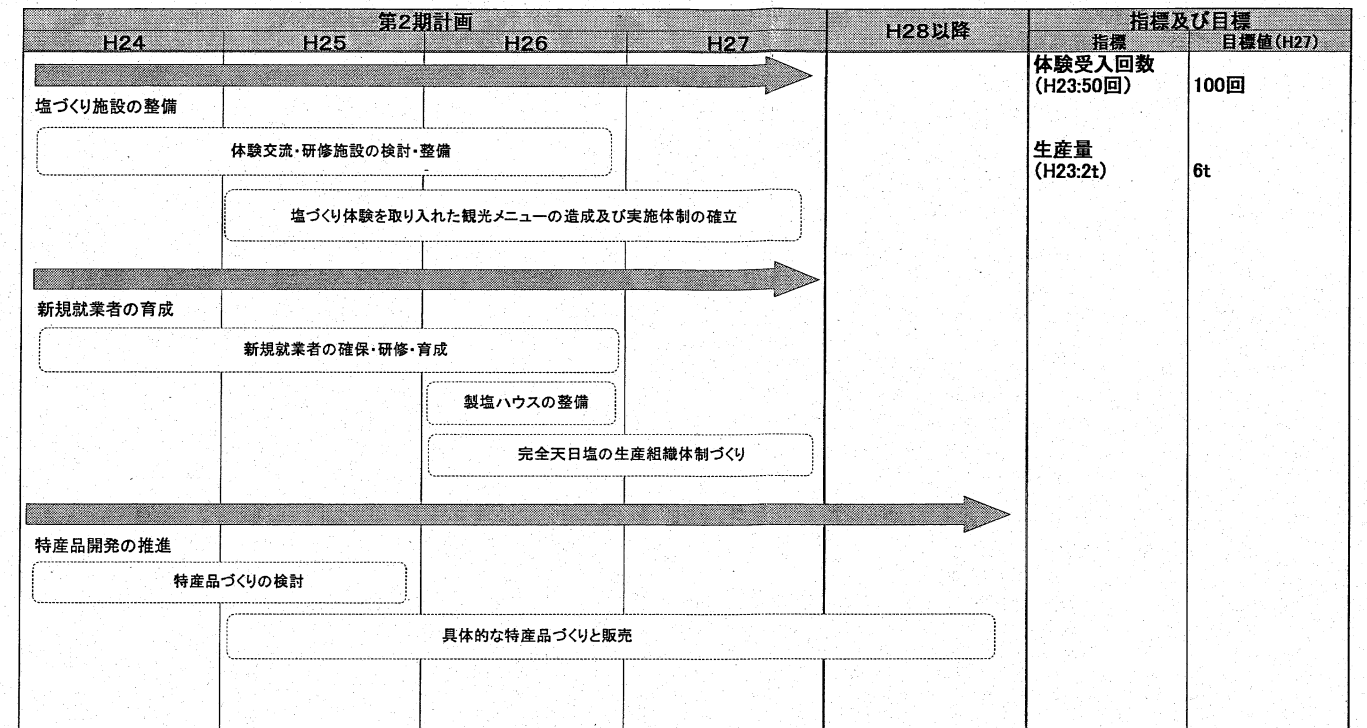


第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
事業者と連携した地域食料を活用した商品の開発や販路の拡大						
ナス・ユズ・土佐ジロー・シラスなどを活用した新たな加工品の開発・販売						
販路拡大(商談会等の活用) 情報発信(B級グルメ大会等でのPR活動や地域食料を活用した料理コンテストの開催)						
生産施設や飲食施設等の整備						
生産拡大に伴う施設・設備等の整備						
安芸の地域食料を提供する施設(レストラン等)の検討及び整備						
人材の発掘と育成等						
土佐MBA・土佐FBCを活用した育成等						
企業訪問や商工会議所女性部・中小企業家同友会安芸支部等と連携しての人材発掘						

修正項目(案)

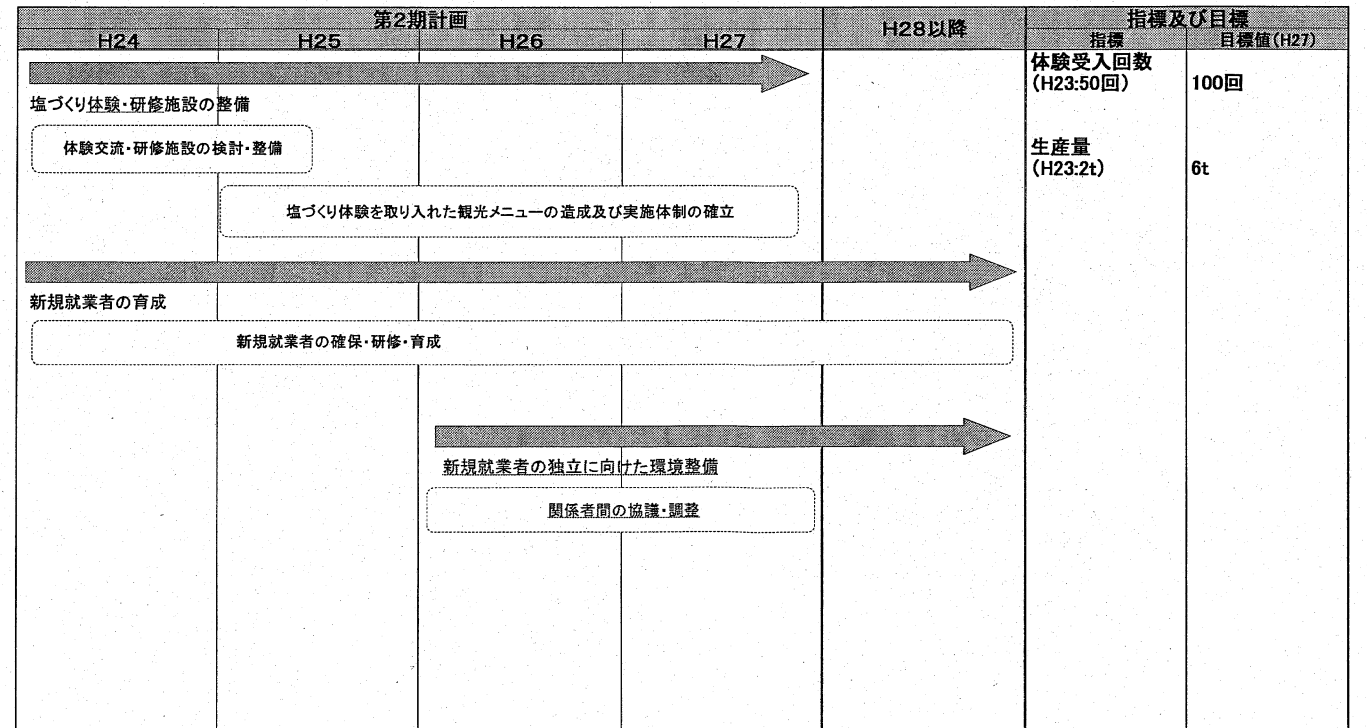
【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
15 完全天日塩の生産の拡大と観光への活用 【田野町】	製塩ハウス施設等の整備と併せて新たな就業者の確保・育成を行うとともに、塩づくり体験や特産品開発を通して完全天日塩の産業化と交流人口の拡大を図る。	・田野町 ・民間事業者			◆塩づくり施設の整備  ◆新規就業者の育成  ◆特産品開発の推進
修正前					



【安芸地域】 平成26年度(案)

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果		課題	主な内容
			これまでの取組と成果	課題		
15 完全天日塩の生産の拡大と観光への活用 【田野町】	製塩ハウス施設等の整備と併せて新たな就業者の確保・育成を行うとともに、塩づくり体験を通して、完全天日塩の産業化と交流人口の拡大を図る。	・田野町 ・民間事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆塩づくりの過程を見学・体験できる施設を整備(H24)</li> <li>◆町内の産業振興や移住促進等の事業とあわせて、体験施設運営や塩づくりに関する地域おこし協力隊を導入(H25~)</li> <li>◆体験用施設を整備し、地域おこし協力隊を導入したことにより、体験受入れによる交流人口の増に取組む環境ができた。</li> <li>◆体験用施設での塩づくりの研修も可能となり、新規就業者育成にも活用することができるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客できる体験メニューの充実</li> <li>・体験施設の実施体制の確立</li> <li>・新規就業者の確保・育成</li> </ul>	◆塩づくり体験・研修施設の整備  ◆新規就業者の育成  ◆新規就業者の独立に向けた環境整備	
修正後						



修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
19 安芸地域における広域観光の振興 【安芸地域全域】	地域内にある観光資源をさらに磨き上げながら、地域内で一泊以上滞在できる周遊観光や教育旅行に取り組み、安芸地域全体の経済の活性化と雇用の増進を推進する。また、安芸地域の広域的な連携の強化に向けて、さらには東部周遊観光の商品化の推進を図るために地域博覧会を開催する。	・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者	・観光素材集「土佐東方見聞録」の作成5万部(H21~22) ・DVDの作成(H21 500枚) ・ランドオペレーター1名雇用(H22.6~) ・素材集を活用した県外エージェントやマスコミへの営業活動を展開。特に森林鉄道、室戸ジオパーク、モノの産をメインに東部地域の面的なPRを実施。今後の足がかりにつけている。	・広域的な連携強化 ・戦略的な商品造成 ・体験メニューの充実と人材育成	◆安芸地域における地域博覧会の開催 ◆観光協会の機能強化と広域観光組織の立上げ ◆戦略的な広報・PR活動の展開 ◆周遊観光や教育旅行の商品づくりと観光拠点の磨き上げ ◆受入体制の整備
統合前①					
23 スポーツキャンプのまちづくり 【安芸市】	タイガースキャンプの存続のみならず、社会人や大学などのノンプロ野球部のキャンプ誘致、特に龍馬伝を機に、三菱グループへの働き掛けなど、スポーツキャンプのまちづくりを推進する。	・安芸市	・キャンプ誘致活動(H21~23) ・改修基本設計(H23) ◆キャンプ・合宿環境の向上により、関西の大学・高校の合宿が行われるようになっている。	・改修基本設計に基づく計画的な改修	◆施設(球場等)の改修 ◆社会人や大学等に対するプロモーション活動 ◆プロ野球のオープン戦招致への取組
統合前②					

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	安芸地域における地域博覧会の開催				国内主要施設訪問者数(H22:120,394人) 国内宿泊者数(H22:137,439人)	140,000人 150,000人
	地域博覧会の準備と開催					
	観光協会の機能強化と広域観光組織の立上げ					
	観光協会の機能強化と広域観光組織の立上げ					
	戦略的な広報・PR活動の展開					
	旅行エージェント等への戦略的な広報活動の展開及び観光情報の発信強化					
	周遊観光や教育旅行の商品づくりと観光拠点等の磨き上げ					
	1泊2日を中心とした周遊ルートづくりと観光拠点等の磨き上げ <室戸・東洋エリア>室戸ジオパーク、生見・白浜海岸・吉良川町並みなど <中芸エリア>モノの産・魚梁瀬森林鉄道遺産、中間徳太郎館、奈半利海浜センター、安田まちなみ交流館・和、唐浜食わず貝など <安芸・芸西エリア>岩崎孝太郎生家、野良時計、琴ヶ浜など					
	教育旅行商品づくりと体験プログラムの磨き上げ					
	受入体制の整備					
	民泊の推進や人材の養成など受入体制の整備					
	施設(球場等)の改修					
	球場施設の計画的改修					
	社会人や大学等に対するプロモーション活動					
	オープン戦、練習試合招致への取組					
	プロ野球のオープン戦招致への取組					
	社会人や大学等に対するプロモーション活動					

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果		主な内容
			総括	課題	
21 安芸地域の観光振興の推進～東部地域博覧会の開催～ 【安芸地域全域】	安芸地域における市町村が連携して地域博覧会の開催することを契機に、安芸地域外からの誘客を増加させて地域経済の活性化を図る。併せて、地域博覧会により磨かれた広域観光のノウハウを活かすために、広域観光のプロモーション機能や地域コーディネート機能を担う組織をつくることにより、地域博覧会後における広域観光の推進体制を整備する。	・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者 ・高知県東部地域博覧会推進協議会	・観光素材集「土佐東方見聞録」の作成5万部(H21~22) ・DVDの作成 500枚(H21) ・ランドオペレーター1名雇用(H22.6~) ・安芸球場キャンプ誘致活動(H21~23) ・安芸球場改修基本設計(H23) ・エージェントセールス(H25.1.10~11中四国、H25.2.5~6関西) ◆素材集を活用した県外エージェントやマスコミへの営業活動を展開。特に森林鉄道、室戸ジオパーク、モノの産をメインに東部地域の面的なPRを実施。今後の足がかりにつけている。	・広域的な連携強化 ・戦略的な商品造成 ・体験メニューの充実と人材育成	◆安芸地域における地域博覧会の開催 ◆広域観光組織の立上げと観光協会等の機能強化 ◆戦略的な広報・PR活動の展開 ◆周遊観光や教育旅行の商品づくり、スポーツ大会等の誘致と観光拠点等の磨き上げ ◆受入体制の整備
統合後					

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	安芸地域における地域博覧会の開催				国内主要施設訪問者数(H22:120,394人) 国内宿泊者数(H22:137,439人)	140,000人 150,000人
	博覧会推進協議会の立ち上げ				国内観光施設、イベント等集客数(東部地域博覧会の開催に向けた基礎数値) (平成24年度)	国内観光施設、イベント等集客数(東部地域博覧会による目標数値) (910,250人)
	博覧会推進協議会による運営					
	基本計画の策定	実施計画の策定	博覧会の実施	博覧会の開催		
	広域観光組織の立上げと観光協会等の機能強化					
	広域観光組織の立上げ及び体制強化					
	観光協会等の機能強化					
	戦略的な広報・PR活動の展開					
	旅行エージェント等への戦略的な広報活動の展開及び観光情報の発信強化					
	周遊観光や教育旅行の商品づくり、スポーツ大会等の誘致と観光拠点等の磨き上げ					
	観光拠点等の磨き上げ <室戸・東洋エリア>室戸ジオパーク、生見・白浜海岸・吉良川町並みなど <中芸エリア>モノの産・魚梁瀬森林鉄道遺産、中間徳太郎館、奈半利海浜センター、安田まちなみ交流館・和、唐浜食わず貝、まちづくり体験ハウス、藤村製菓など <安芸・芸西エリア>岩崎孝太郎生家、土居麻中、野良時計、伝説館、琴ヶ浜など					
	教育旅行商品づくりと体験プログラムの磨き上げ					
	地域内スポーツ施設等を活用した大会や合宿等の誘致と施設整備(安芸市堂球場・中芸広域体育館・室戸広域公園・安芸広域公園など)					
	受入体制の整備					
	民泊の推進や人材の養成など受入体制の整備					



修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
19 安芸地域における広域観光の振興 《安芸地域全域》	地域内にある観光資源をさらに磨き上げながら、地域内で一泊以上滞在できる周遊観光や教育旅行に取り組むことにより、安芸地域全体の経済の活性化と雇用の場づくりを推進する。 また、安芸地域の広域的な連携の強化に向けて、さらには東部周遊観光の商品化の推進を図るために地域博覧会を開催する。	・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者	・観光素材集「土佐東方見聞録」の作成5万部(H21~22) ・DVDの作成(H21 500枚) ・ランドオペレーター1名雇用(H22.6~)  ◆素材集を活用した県外エージェントやマスコミへの営業活動を展開。特に森林鉄道、室戸ジオパーク、モネの庭をメインに東部地域の面的なPRを実施。今後の足がかりにつなげている。	・広域的な連携強化 ・戦略的な商品造成 ・体験メニューの充実と人材育成	◆安芸地域における地域博覧会の開催  ◆観光協会の機能強化と広域観光組織の立上げ  ◆戦略的な広報・PR活動の展開  ◆周遊観光や教育旅行の商品づくりと観光拠点の磨き上げ  ◆受入体制の整備

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	安芸地域における地域博覧会の開催				園内主要施設訪問者数 (H22:120,394人) 園内宿泊者数 (H22:137,439人)	140,000人 150,000人
	地域博覧会の準備と開催					
	観光協会の機能強化と広域観光組織の立上げ					
	観光協会の機能強化と広域観光組織の立上げ					
	戦略的な広報・PR活動の展開					
	旅行エージェント等への戦略的な広報活動の展開及び観光情報の発信強化					
	周遊観光や教育旅行の商品づくりと観光拠点等の磨き上げ					
	1泊2日を中心とした周遊ルートづくりと観光拠点等の磨き上げ <室戸・東洋エリア>室戸ジオパーク、生見・白浜海岸・吉良川町並みなど <中芸エリア>モネの庭・魚梁瀬森林鉄道遺産、中間俣太郎館、奈半利海浜センター、安田まちなみ交流館・和、唐浜食わず貝など <安芸・芸西エリア>岩崎弥太郎生家、野良時計、琴ヶ浜など					
	教育旅行商品づくりと体験プログラムの磨き上げ					
	受入体制の整備					
	民泊の推進や人材の養成など受入体制の整備					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果		主な内容
			総括	課題	
21 安芸地域の観光振興の推進 ~東部地域博覧会の開催~ 《安芸地域全域》	安芸地域における市町村が連携して地域博覧会の開催することを契機に、安芸地域外からの誘客を増加させて地域経済の活性化を図る。 併せて、地域博覧会により蓄積された広域観光のノウハウを活かすために、広域観光のプロモーション機能や地域コーディネート機能を持つ組織をつくることにより、地域博覧会後における広域観光の推進体制を整備する。	・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者 ・高知県東部地域博覧会推進協議会	・観光素材集「土佐東方見聞録」の作成5万部(H21~22) ・DVDの作成 500枚(H21) ・ランドオペレーター1名雇用(H22.6~) ・安芸球場キャンプ誘致活動(H21~23) ・安芸球場改修基本設計(H23) ・エージェントセールス(H25.1.10~11中四国、H25.2.5~6関西)	・広域的な連携強化 ・戦略的な商品造成 ・体験メニューの充実と人材育成	◆安芸地域における地域博覧会の開催  ◆広域観光組織の立上げと観光協会等の機能強化  ◆戦略的な広報・PR活動の展開  ◆周遊観光や教育旅行の商品づくり、スポーツ大会等の誘致と観光拠点等の磨き上げ  ◆受入体制の整備

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	安芸地域における地域博覧会の開催				園内主要施設訪問者数 (H22:120,394人) 園内宿泊者数 (H22:137,439人)	140,000人 150,000人
	博覧会推進協議会の立上げ					
	博覧会推進協議会による運営					
	基本計画の策定					
	実施計画の策定					
	プレ博覧会の実施					
	博覧会の開催					
	広域観光組織の立上げと観光協会等の機能強化					
	広域観光組織の立上げ及び体制強化					
	観光協会等の機能強化					
	戦略的な広報・PR活動の展開					
	旅行エージェント等への戦略的な広報活動の展開及び観光情報の発信強化					
	周遊観光や教育旅行の商品づくり、スポーツ大会等の誘致と観光拠点等の磨き上げ					
	観光拠点等の磨き上げ <室戸・東洋エリア>室戸ジオパーク、生見・白浜海岸・吉良川町並みなど <中芸エリア>モネの庭・魚梁瀬森林鉄道遺産、中間俣太郎館、奈半利海浜センター、安田まちなみ交流館・和、唐浜食わず貝、 磨き上げ体験ハウス、藤村製糸など <安芸・芸西エリア>岩崎弥太郎生家、土居邸中、野良時計、伝承館、琴ヶ浜など					
	教育旅行商品づくりと体験プログラムの磨き上げ					
	地域内スポーツ施設等を活用した大会や合宿等の誘致と施設整備(安芸市営球場・中芸広域体育館・室戸広域公園・安芸広域公園など)					
	受入体制の整備					
	民泊の推進や人材の養成など受入体制の整備					



修正後

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
25 マリンスポーツ体験拠点づくり 【東洋町】	サーフィンやダイビングなどを中心としたマリンスポーツの体験を目的とした修学旅行や企業研修、サークル活動の受け入れ施設を整備するとともに、新たな体験プログラムの開発を行う。	・東洋町 ・地元マリンスポーツ関係事業者 ・観光振興協会			◆マリンスポーツ体験プログラムの開発  ◆既存施設の改良  ◆備品の整備  ◆宣伝・広報

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果	課題	主な内容

修正後

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
マリンスポーツ体験プログラムの開発							
観光団体との協力体制の構築	プログラムの作成	体験プログラムの実施・追加					
既存施設の改良							
既存施設の改良の検討	既存施設の改良						
備品の整備							
備品の検討	備品の整備						
宣伝・広報							
ホームページの設計、開設							



第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
海の駅を拠点とした体験観光プログラムの開発							
体験観光プログラムの検討		体験観光プログラムの開発・実施					
観光団体との協力体制の構築	観光資源の掘り起こし						
海の駅の観光情報コーナーにおいて体験観光プログラムの紹介							
受け入れ施設の整備							
既存施設の改良の検討	既存施設の改良		新施設整備の検討				
備品の整備							
備品の検討	備品の整備						
宣伝・広報							
ホームページの設計、開設							



修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
27 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大 《奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》	森林鉄道遺産(産業遺産、森の仕事、当時の生活文化等)を中芸地区の新しい地域資源(地域遺産)にとらえ、一般層の利用も視野に入れた活用に取り組み、地域連携を通して、交流人口の拡大や文化活動の促進を図る。	・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会	・案内看板、遊歩道、駐車場の設置(H21~23) ・観光用ビデオの作成(H22) ・開通100周年事業の実施(H23) ・ガイドの育成14名(H21~22) ◆東部地域の新しい観光素材として旅行会社の注目度が高く、ツアーが催行される。	・5カ町村広域の窓口の設置 ・ガイド、食事、宿泊等受入体制の強化 ・100周年記念事業を契機とした更なる情報発信	◆遺産の活用と普及啓発活動  ◆遺産に関する調査・保存への取組
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
修正後					

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
遺産の活用と普及啓発活動					ツアー客数 (H22:1,171人)	1,500人
100周年イベントの開催	遺産ウォーク等の実施と森林鉄道のネットワークを活用した普及・啓発活動					
遺産に関する調査・保存への取組						
支線調査活動	遺産の保存活動(修繕・美化活動など)					



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
遺産の活用と普及啓発活動					ツアー客数 (H22:1,171人)	1,500人
100周年イベントの開催	遺産ウォーク等の実施と森林鉄道のネットワークを活用した普及・啓発活動					
遺産に関する調査・保存への取組						
支線調査活動	遺産の保存活動(修繕・美化活動など)					
遺産に関する保存と活用への取組の一体化と明確化						
関係者間の調整	旧魚梁瀬森林鉄道遺産の保存管理・活用計画の策定			計画に基づく施設整備等、保存と活用を支える仕組みづくり		

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
29 安田町中山地区の活性化プロジェクト 《安田町》	地区住民主体で「中山元気プラン(仮称)」の策定を行い、地域資源である自然薯の生産拡大に取り組むとともに、地域の観光資源を活用して交流人口の拡大を図るなど、中山地区を元気にする取組を推進する。	・安田町 ・中山を元気にする会 ・安田川漁協 ・自然薯生産組合 ・味工房じねん ・中山合同女性部			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「中山元気プラン(仮称)」の策定</li> <li>◆味工房じねん、せせらぎの郷小川を核とした交流人口の拡大</li> <li>◆中山自然薯のブランド化</li> <li>◆新たな観光資源の発掘～森林セラピーロードへの取組～</li> </ul>
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果		主な内容
			これまでの取組と成果	課題	
32 安田中山地区の活性化プロジェクト 《安田町》	地区住民主体で「中山元気プラン(仮称)」の策定を行い、地域資源である自然薯の生産拡大に取り組むとともに、地域の観光資源を活用して交流人口の拡大を図るなど、中山地区を元気にする取組を推進する。	・安田町 ・中山を元気にする会 ・安田川漁協 ・自然薯生産組合 ・味工房じねん ・中山合同女性部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落活動センター「なかやま」の開設(H24. 4月)</li> <li>・中山を元気にする会運営会開催(H24)</li> <li>・高知大学・安田町連携事業協議会設置(H24)</li> <li>・旧中山小学校(集落活動センター)の耐震診断(H24)</li> <li>・安田ふるさと応援隊(地域おこし協力隊員:1名採用)による運営支援の継続(H25)</li> <li>・集落調査員2名の採用(H25)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落活動センターの円滑な運営と外部人材の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「中山元気プラン(仮称)」の策定</li> <li>◆味工房じねん、せせらぎの郷小川、集落活動センターを核とした交流人口の拡大</li> <li>◆中山自然薯のブランド化</li> <li>◆新たな観光資源の発掘</li> </ul>
修正後					

H24	第2期計画				指標及び目標	
	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
「中山元気プラン(仮称)」の策定	味工房じねん、せせらぎの郷小川等を核とした交流人口拡大					
プランの検討と策定	安田川アユおどる清流キャンプ場や旧中山小中学校跡など中山地区にある資源の磨き上げなど					
	味工房じねんやせせらぎの郷小川など中山地区の地域拠点を活用した交流人口拡大に向けた取組					
中山自然薯のブランド化 市場調査、地域資源調査、ブランド化の検討等	生産農家拡大、生産組合の体制整備、販路開拓等					
	生産拡大と加工品の開発・販売					
新たな観光資源の発掘～森林セラピーロードへの取組～						
森林セラピーに関する調査研究	認定に向けた具体的な取組		森林セラピー基地・セラピーロードの運営開始			



H24	第2期計画				指標及び目標	
	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
「中山元気プラン(仮称)」の策定	味工房じねん、せせらぎの郷小川、集落活動センター等を核とした交流人口拡大					
プランの検討と策定	安田川アユおどる清流キャンプ場や旧中山小中学校跡など中山地区にある資源の磨き上げなど					
	味工房じねんやせせらぎの郷小川など中山地区の地域拠点を活用した交流人口拡大に向けた取組					
	集落活動センターの開設		集落活動センターを核とした旧中山小中学校の施設利用案の具体化と施設整備			
中山自然薯のブランド化 市場調査、地域資源調査、ブランド化の検討等	生産農家拡大、生産組合の体制整備、販路開拓等					
	生産拡大と加工品の開発・販売					
新たな観光資源の発掘						
森林セラピー等に関する調査研究	東部広域博覧会を契機にした展開		継続的な活用			

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
2 ユズを中心とした中山間振興 【室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村】	日本一のユズ産地として、生産性の向上や品質の低下の防止とともに、ユズ果汁等の販路拡大に取り組み、ユズ販売額の向上を図る。	・JA土佐あき	・新植、改植の推進への取組(H21~23) ◆県選抜システムを活用した母樹園が設置された。 (安芸:東川・畑山、北川)	青果出荷へのシフト・隔年結果及び品質低下対策 ・母樹園を活用した優良系統の普及	◆新植、改植の推進
		・JA土佐あき ・JA馬路村	・将来にわたってユズ園を管理する仕組みづくりへの取組(H21~23) ◆集落営農組織及び農作業委託組織を3組織育成できた。	新たな仕組みづくり ・ユズ銀行に代わる新たな労働補完体制の検討(北川村)	◆将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり
		・JA土佐あき ・JA馬路村	(JA土佐あき) ・加工施設等の導入(H21.10) ◆JA土佐あき北川支所の搾汁施設の高度化が行われ、H21は過去にない豊作で販売に苦慮したが販路開拓により飲料企業との取引が拡大している。  (JA馬路村) ・ユズ茶加工施設導入(H21) ◆JA馬路村がゆず茶の加工施設を導入し、販売実績が徐々に増加している。	(JA土佐あき) ・H21大豊作による果汁販売の苦戦、生産者単価の低下  (JA馬路村) ・H21大豊作による果汁販売の苦戦 ・加工施設の活用による安定した加工品販売及び生産者単価の維持向上	◆ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓

修正前

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
新植、改植の推進 青果の生産拡大と品質向上、計画的販売の強化					青果出荷受入量(H22:297t)(H23:370t)	400t
検討会や勉強会の開催による基本技術の徹底						
適正栽培管理の指導 母樹園管理規定等の仕組みづくり					作業受託等の新たな組織作り	北川村1組織 馬路村1組織
将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり 新たな組織の検討(北川村、馬路村)						
農作業受託組織、作業班体制等による作業請負の仕組み作りに向けた検討(組織等の設立)					加工仕向量(H22:4,250t)	4,670t (10%アップ)
ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓					加工用果皮の出来高量 安芸:A品・B品(H23:631t) 北川:A品・B品(H23:31t)	安芸 1,000t 北川 80t
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(JA土佐あき)栽培基本技術向上による加工用A品果皮の出荷拡大</li> <li>・大手飲料メーカー等との契約による販売の安定化</li> <li>・加工ニーズに対応した果汁殺菌施設の導入と施設を活かした販路開拓</li> <li>・高知県食品衛生管理認証制度への取組</li> <li>・果汁一元化販売に向けた体制整備</li> <li>・ユズ協業との連携、海外事務所、輸出コーディネーター等の活用による輸出版売の拡大。(シンガポール、北米、EU等)</li> </ul>					JA馬路村加工品販売額 ユズ茶(H21:0.8億円) 化粧品(H21:1,700万円) ボン酢他ユズ加工品(H21:20億円)	1.6億円 5,200万円 20.7億円
各施設を活用した加工品生産、加工品開発及び販売拡大への取組						

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果		主な内容
			これまでの取組みと成果	課題	
2 ユズを中心とした中山間振興 【室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村】	日本一のユズ産地として、生産性の向上や品質の低下の防止とともに、ユズ果汁等の販路拡大に取り組み、ユズ販売額の向上を図る。	・JA土佐あき ・JA馬路村	(JA土佐あき) ・新植、改植の推進への取組み(H21~25) ◆県選抜システムを活用した母樹園が設置された(H22) ・果汁の販売対策として計画的な施設整備(北川村:H21:搾汁施設、H24:果汁殺菌設備)、JA内に販売対策チームの設立(H24) ◆EU向けに青果輸出に取り組み始めた(H24:3t、H25:3t) ◆消費者との交流イベント(収穫祭、料理コンテスト)実施(H24・H25) ・将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり ◆北川村ゆず振興協議会で作業受託組織を検討することとなった。(H24~)	(JA土佐あき) ・青果出荷へのシフト・隔年結果及び品質低下対策 ・母樹園を活用した優良系統の普及 ・ユズ銀行(作業受託組織H23末解散)に代わる新たな労働補完体制の検討	◆新植、改植の推進
		・JA馬路村	(JA馬路村) ・ゆず茶(H21)及び化粧品(H22)の加工施設の導入 ◆加工品の販売実績が徐々に増加している。 ◆販路拡大に向けて新商品開発を進めた(H24:シャーベット2種、ボン酢1種) ◆消費者との交流イベント(ゆずはじまる祭)実施(H18~)	(JA馬路村) ・(株)ユズ組合による作業請負等の継続及び新たな仕組みの検討 ・加工施設の活用による安定した加工品販売及び生産者単価の維持向上	◆将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
新植、改植の推進 青果の生産拡大と品質向上、計画的販売の強化					青果出荷受入量(H22:297t)(H23:370t)	400t
検討会や勉強会の開催による基本技術の徹底						
適正栽培管理の指導 母樹園管理規定等の仕組みづくり					作業受託等の新たな組織作り	北川村1組織 馬路村1組織
将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり 新たな組織の検討(北川村、馬路村)						
農作業受託組織、作業班体制等による作業請負の仕組み作りに向けた検討(組織等の設立)					加工仕向量(H22:4,250t)	4,670t (10%アップ)
ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓					加工用果皮の出来高量 安芸:A品・B品(H23:631t) 北川:A品・B品(H23:31t)	安芸 1,000t 北川 80t
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(JA土佐あき)栽培基本技術向上による加工用A品果皮の出荷拡大</li> <li>・大手飲料メーカー等との契約による販売の安定化</li> <li>・加工ニーズに対応した果汁殺菌施設の導入と施設を活かした販路開拓</li> <li>・高知県食品衛生管理認証制度への取組</li> <li>・果汁一元化販売に向けた体制整備</li> <li>・ユズ協業との連携、海外事務所、輸出コーディネーター等の活用による輸出版売の拡大。(シンガポール、北米、EU等)</li> </ul>					JA馬路村加工品販売額 ユズ茶(H21:0.8億円) 化粧品(H21:1,700万円) ボン酢他ユズ加工品(H21:20億円)	1.6億円 5,200万円 20.7億円
各施設を活用した加工品生産、加工品開発及び販売拡大への取組						



修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
7 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 《室戸市、東洋町》	土佐備長炭の生産量の増大と後継者の育成を図る。	・室戸市木炭振興会 ・土佐備長炭生産組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>東洋町共同窯3基設置(H21~22)</li> <li>室戸市研修窯3基設置(H21~22)</li> <li>市場調査(H21)</li> <li>勉強会の開催4回(H22)</li> </ul> <p>◆製炭量については、目標の800tに対し846t。新規生産者の受け入れも順調にしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原木の確保</li> <li>更なる品質の向上と規格の均一化</li> <li>研修終了後の研修生の就業定着化(就業条件の確保)</li> </ul>	<p>《室戸市木炭振興会》 《土佐備長炭生産組合》 ◆新規製炭者の育成</p> <p>◆品質・規格の向上と新商品開発ほか</p> <p>《室戸市木炭振興会》 ◆共同出荷・販売の取組</p> <p>《土佐備長炭生産組合》 ◆原木配給施設設置</p>

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
新規製炭者の育成					▶	新規就労者確保	就労者 5名
研修生の受け入れ 後継者自立用共同窯の設置						共同窯設置 生産量の増産	4基 30t/年
品質・規格の向上と新商品開発ほか					▶	新規商品開発	1商品
アドバイザーの招聘、勉強会の開催 販促用DVD・取扱解説チラシ作製・看板設置・県内外イベントへの参加							
共同出荷・販売の取組(室戸市木炭振興会)					▶	原木配給施設	1箇所
原木の共同調達、製品の共同出荷・販売の取組 原木配給施設設置(土佐備長炭生産組合) 原木配給ストックヤードの設置							

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果		課題	主な内容
			これまでの取組みと成果	課題		
7 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 《室戸市、東洋町》	土佐備長炭の生産量の増大と後継者の育成を図る。	・室戸市木炭振興会 ・土佐備長炭生産組合	<p>(室戸市木炭振興会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組織化:H19設立</li> <li>施設等整備(H21:研修窯2基、H22:研修窯1基)</li> <li>研修生の受け入れ(H21:3人、H22:5人、H23:7人、H24:12人)</li> <li>◆施設整備により、研修生の継続した受け入れにつながっている。</li> </ul> <p>(土佐備長炭生産組合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組織化:H21設立</li> <li>施設等整備(H21:共同窯2基、H22:共同窯1基、保管庫1棟、H25:共同窯3基、フォークリフト1台)</li> <li>研修生の受け入れ(H21:3人、H22:2人、H23:4人、H24:4人)</li> <li>◆新商品(オガ炭)製造の検討(H25)</li> <li>◆原木の共同購入、共同出荷の開始(H21~)により、生産性が向上した。</li> <li>◆施設整備により月産出荷能力(箱=12kg)が増加した。(H21:2,150箱、H22:3,425箱、H23:3,548箱、H24:3,670箱)</li> <li>◆製品規格を10種から19種へ拡げ、末端利用者のニーズに対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原木の安定確保</li> <li>更なる品質の向上と規格の均一化</li> <li>研修終了後の就業定着化(事業化時の初期投資(窯整備)が不安)</li> </ul> <p>(土佐備長炭生産組合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>品質の評価や知名度も高まりつつあるが、紀州産との価格差が解消されていない。</li> </ul> <p>(室戸市木炭振興会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原木の共同購入・共同出荷の取り組みがなされていないため、際立った増産には至っていない。</li> </ul>	<p>《室戸市木炭振興会》 《土佐備長炭生産組合》 ◆新規製炭者の育成と量産体制の強化</p> <p>◆品質・規格の向上と新商品開発ほか</p> <p>《室戸市木炭振興会》 ◆共同出荷・販売の取組</p> <p>《土佐備長炭生産組合》 ◆原木配給施設設置</p>	

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
新規製炭者の育成と量産体制の強化					▶	新規就労者確保	就労者 5名
研修生の受け入れ 共同窯の設置						共同窯設置 生産量の増産	6基 30t/年/基
品質・規格の向上と新商品開発ほか					▶	新規商品開発	1商品
アドバイザーの招聘、勉強会の開催 販促用DVD・取扱解説チラシ作製・看板設置・県内外イベントへの参加							
共同出荷・販売の取組(室戸市木炭振興会)					▶	原木配給施設	1箇所
原木の共同調達、製品の共同出荷・販売の取組 原木配給施設設置(土佐備長炭生産組合) 原木配給ストックヤードの設置							

修正後



修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
13 海洋深層水の利用拡大 【室戸市】	室戸海洋深層水アクア・ファームにおける海洋深層水給水量の拡大を図る。室戸ジオパーク海洋深層水サイトとして、アクア・ファームの受け入れ体制を強化し、観光客へのPRを行う。スジアオノリの増産試験及び施設拡大の検討を行うとともに、販路拡大、商品開発に取り組む。また、海洋深層水の水産への利用について検討を行う。	・室戸市 ・高知県漁協(高岡支所)	<p>&lt;販路、供給地域の拡大&gt; ・イベント、講演等での深層水のPR(H21~23) ◆供給地域の拡大のための制度策定までには至らなかったが、今後も協議を続けていくことを確認した。</p> <p>&lt;企業、研究機関等との連携等&gt; ・様々な機関や大学との連携活動(H21~23) ◆深層水を利用した研究依頼が増加し、新分野に向けての予備試験や各種研究を開始した。</p> <p>&lt;スジアオノリ&gt; ・市場調査(H21~22) ・プロワ-改修工事(H22~23) ・「まるごと高知」での小袋商品を始め各種イベントで販売開始(H22~23) ・大手回転ずしチェーン店に試験出荷(H23) ◆生産性の向上や、新たな販売先を確保するなどにより、H21年度から収支が黒字化し、大幅な経営改善が図られた。</p>	<p>&lt;販路、供給地域の拡大&gt; ・深層水の安定的な販売先の確保 ・供給地域・量の拡大に対応できるよう、設備の維持・更新</p> <p>&lt;企業、研究機関等との連携等&gt; ・進められている共同研究の成果の実用化</p> <p>&lt;スジアオノリ&gt; ・生産量の高位平準化</p>	<p>◆室戸海洋深層水の供給地域拡大</p> <p>◆室戸ジオパークサイトとしてのPR活動</p> <p>◆スジアオノリの増産試験及び施設増設の検討</p> <p>◆スジアオノリを利用した新商品の開発及び販路拡大</p> <p>◆海洋深層水の水産利用の検討</p>

修正前

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
室戸海洋深層水の供給地域拡大 供給域拡大のための制度の変更	深層水の給水量拡大				アクアファームの海洋深層水使用料(H22:27,000千円)	35,000千円
室戸ジオパークサイトとしてのPR活動 ・ジオパークに関する職員研修 ・展示施設、パンフレット等の内容精査					スジアオノリ販売額(H22:20,000千円)	30,000千円
スジアオノリの増産試験及び施設増設の検討 生産効率向上技術の開発						
種苗生産技術の検討、培養密度、生産サイクルの見直し、シフト見直しによる作業日数の増加等						
施設増設についての検討 既存の施設内に増設、新規施設の設置等試算	【左記検討結果により増設との結論が出た場合】 施設増設					
スジアオノリを利用した新商品の開発及び販路拡大 ・県内外への販路拡大(県アンテナショップへの出品、販売先の開拓) ・食品加工業者等とのタイアップによる商品開発						
海洋深層水の水産利用の検討 水産利用に向けた検討						

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果		主な内容
			これまでの取組みと成果	課題	
12 海洋深層水の利用拡大 【室戸市】	室戸海洋深層水アクア・ファームにおける海洋深層水給水量の拡大を図る。室戸ジオパーク海洋深層水サイトとして、アクア・ファームの受け入れ体制を強化し、観光客へのPRを行う。また、海洋深層水の水産への利用について検討を行う。	・室戸市 ・深層水利用企業	<p>&lt;販路、供給地域の拡大&gt; ・イベント、講演等での深層水のPR(H21~23) ◆供給地域の拡大のための制度策定までには至らなかったが、今後も協議を続けていくことを確認した。</p> <p>&lt;企業、研究機関等との連携等&gt; ・様々な機関や大学との連携活動(H21~23) ◆深層水を利用した研究依頼が増加し、新分野に向けての予備試験や各種研究を開始した。</p> <p>&lt;スジアオノリ&gt; ・市場調査(H21~22) ・プロワ-改修工事(H22~23) ・「まるごと高知」での小袋商品を始め各種イベントで販売開始(H22~23) ・大手回転ずしチェーン店に試験出荷(H23) ◆生産性の向上や、新たな販売先を確保するなどにより、H21年度から収支が黒字化し、大幅な経営改善が図られた。</p>	<p>&lt;販路、供給地域の拡大&gt; ・深層水の安定的な販売先の確保 ・供給地域・量の拡大に対応できるよう、設備の維持・更新</p>	<p>◆室戸海洋深層水の供給地域拡大</p> <p>◆室戸ジオパークサイトとしてのPR活動</p> <p>◆深層水利用養殖の商品の開発及び販路拡大</p> <p>◆海洋深層水の水産利用の検討</p> <p>◆施設整備の検討</p>

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
新設、改修の推進	深層水の給水量拡大				アクアファームの海洋深層水使用料(H22:27,000千円)	35,000千円
室戸海洋深層水の供給地域拡大 供給域拡大のための制度の変更						
室戸ジオパークサイトとしてのPR活動 ・ジオパークに関する職員研修 ・展示施設、パンフレット等の内容精査						
深層水利用養殖の商品の開発及び販路拡大 ・県内外への販路拡大(県アンテナショップへの出品、販売先の開拓) ・食品加工業者等とのタイアップによる商品開発						
海洋深層水の水産利用の検討 海洋深層水を利用した貝類、藻類養殖検討						
施設整備の検討 給水地域内での新増設等試算	【左記検討結果により新増設の結論が出た場合】 施設新増設					



修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
14 酒粕等を活用した新商品の開発と販路の拡大 【田野町、安田町】	酒粕等を活用した商品を開発し、販路を拡大していくことにより、雇用の確保と地域の経済の活性化を目指す。	・四国部品網中芸工場 ・民間企業(予定)	・酒粕スイーツ「蔵乃風」等の開発、販売(H22~23) ◆酒粕スイーツ「蔵乃風」に関しては、試行錯誤を重ねながら数種類の商品を開発することができた。その後、美丈夫純米大吟醸の酒粕を使った商品開発も行い、商品構成を充実させることができた。	・販売場所及び体制の確立 ・製造コストの低減 ・製造工程の機械化の検討	◆商品開発と製品化  ◆生産体制の整備  ◆販売ルートの開拓
			・酒粕ドレッシング試作・改良、パッケージデザイン作成(H22~23) ◆酒粕ドレッシングに関しては、試作後ターゲットをより明確化した上でニーズに対応できる商品づくりを進めている。	・地域食材の活用による新商品づくり ・酒造場、農産物、加工業者との連携 ・新商品のブランド化	
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果		課題	主な内容
			これまでの取組と成果	課題		
15 田野町の地域資源を活用した新商品の開発と販路の拡大 【田野町】	田野町の地域資源を活用した商品を開発し、販路を拡大していくことにより、雇用の確保と地域の経済の活性化を目指す。	・四国部品網中芸事業所 ・民間企業	・酒粕スイーツ「蔵乃風」「蔵人の菓」等の開発、販売開始(H22~23) ・塩シャベット「塩姫」等、生姜のお菓子「爪の垢」の開発、販売開始(H24~25) ◆酒粕スイーツに関しては、数種類の商品を開発することができた。その後、新しい商品開発も行い、商品構成を充実させることができた。 ◆酒粕以外の商品についても開発に取り組み、数種類の商品が販売となった。	・販売場所及び体制の確立 ・製造コストの低減 ・製造工程の機械化の検討	◆商品開発と製品化  ◆生産体制の整備  ◆販売ルートの開拓	
			・酒粕ドレッシング試作・改良、パッケージデザイン作成(H22~23)(ダイイチダルマ食品㈱※H24事業廃止)  ・田野町の産品である塩を使ったアイス、大福の商品開発、販売(榎松冷菓工業)(H25)※H25はAP15関連	・地域食材の活用による新商品づくり ・酒造場、農産物、加工業者等との連携 ・新商品のブランド化 ・販路の拡大		
修正後						



	第2期計画					指標及び目標	
	H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
商品開発と製品化	→					酒粕商品販売額 (H23:4,200千円)	42,000千円
	市場調査、商品の開発とブラッシュアップ、アドバイザーの活用等						
生産体制の整備	→						
	生産体制の整備と製造機械導入の検討						
販売ルートの開拓	→						
	販売ルートの開拓と確保						

	第2期計画					指標及び目標	
	H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
商品開発と製品化	→					酒粕商品販売額 (H23:4,200千円)	42,000千円
	市場調査、商品の開発とブラッシュアップ、アドバイザーの活用等						
生産体制の整備	→						
	生産体制の整備と製造機械の導入等						
販売ルートの開拓	→						
	販売ルートの開拓と確保						



修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等 総括	課題	主な内容
17 道の駅「田野駅」の機能強化(特産品開発及び情報発信)と施設整備等 【田野町】	地域の特産品や観光情報の発信機能を強化し、田野駅屋の集客力を最大限に有効活用する。併せて地域農産物等を活用した加工品を開発・販売し、消費拡大を図っていく。さらに、それらに資する施設整備等を行う。	・田野町 ・道の駅指定管理者 ・加工施設指定管理者 ・生産者組織	・加工品7品目(たのかつ、鯖コロッケ等)を開発(H21) ・加工品3品目(コロッケ2種、鹿肉カレーライス)を試作(H22) ・田野駅屋拡張(74㎡増)(H23.3)  ◆加工品の開発に関しては、10品目の開発・試作がなされてきたが、販売面において十分な成果を上げるまでに至っていない  ◆情報発信コーナーが整備されたことで、中芸地域以東の観光情報発信の拠点としての期待が高まっている	・情報発信機能の更なる強化  ・地場産品を活用した魅力ある特産品(加工品)の開発と販売体制の強化	◆情報発信機能の強化      ◆加工品の開発・販売の強化   ◆機能強化のための施設整備等

修正前



【安芸地域】 平成26年度(案)

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 道の駅「田野駅」の機能強化(特産品開発及び情報発信)と施設整備等 【田野町】	地域の特産品や観光情報の発信機能を強化し、田野駅屋の集客力を最大限に有効活用する。併せて地域農産物等を活用した加工品を開発・販売し、消費拡大を図っていく。さらに、それらに資する施設整備等を行う。	・田野町 ・道の駅指定管理者 ・加工施設指定管理者 ・生産者組織	・加工品7品目(たのかつ、鯖コロッケ等)を開発(H21) ・加工品3品目(コロッケ2種、鹿肉カレーライス)を試作(H22) ◆加工品の開発に関しては、22年度までに10品目の開発・試作がなされて販売されてきたが、販売が継続されているものは少ない。  ・田野駅屋拡張(74㎡増)(H23.3) ◆情報発信コーナーが整備されたことで、中芸地域以東の観光情報発信の拠点ができた。	・情報発信機能の更なる強化  ・地場産品を活用した魅力ある特産品(加工品)の開発と販売体制の強化  ・施設整備に向けた関係機関等の調整	◆情報発信機能の強化      ◆加工品の開発・販売の強化   ◆機能強化のための施設整備等

修正後

第2期計画					指標及び目標
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標 目標値(H27)
情報発信機能の強化					
市場調査、情報発信コーナーの認知度アップに向けた検討と取組					
観光・宿泊施設との連携による情報の共有化、ガイドマップやHPでの情報発信による観光施設等への誘導					
人材育成(スキルアップ研修、先進地視察等)					
加工品の開発・販売の強化					
生産者と連携した加工品づくり					
機能強化のための施設整備等					
基本構想づくり及び関係機関との協議					
		拡張工事の実施計画作成・関係機関との協議		用地買収等及び施設整備着手	リニューアルオープン

第2期計画					指標及び目標
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標 目標値(H27)
情報発信機能の強化					
市場調査、情報発信コーナーの認知度アップに向けた検討と取組					
観光・宿泊施設との連携による情報の共有化、ガイドマップやHPでの情報発信による観光施設等への誘導					
人材育成(スキルアップ研修、先進地視察等)					
加工品の開発・販売の強化					
生産者と連携した加工品づくり					
機能強化のための施設整備等					
関係者間の協議及び基本構想づくり					
			基本構想の具体化と施設整備等		



修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
18 地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化 【芸西村】	地場産品直販所「かっぱ市」のリニューアルオープンに伴い、花卉類・鮮魚類の販売を拡充させ、他の直販所と差別化することで売上の増加を図るとともに、地域経済の活性化を図る。 村内で生産される農産物等(ピーマン・黒砂糖等)を使用した新たな商品を企画開発し、村内産品の付加価値を高める。	芸西村 街かっぱ市 生産者グループ	・リニューアルオープン(H23.10) ◆売り場面積を1.5倍に拡充し、花卉部門を中心として、惣菜・鮮魚部門等の売上増加を図り、商品回転率を高めることで、収益の増加が期待できる。 ◆収益の増加により、外販部門の継続雇用を見込むとともに、テイクアウト飲食部門の充実・拡充を図ることで、短期雇用が見込まれる。	・花卉出展量の確保 ・新商品の開発、新商品の原材料確保(サトウキビ等) ・商品集荷システムの構築 ・テイクアウト商品の充実	◆「かっぱ市」の機能の拡充  ◆安定供給の仕組みづくり  ◆新たな商品の企画開発  ◆地域観光情報等の発信

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果		主な内容
			総括	課題	
地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化 【芸西村】	地場産品直販所「かっぱ市」のリニューアルオープンに伴い、花卉類・鮮魚類の販売を拡充させ、他の直販所と差別化することで売上の増加を図るとともに、地域経済の活性化を図る。 村内で生産される農産物等(ピーマン・黒砂糖等)を使用した新たな商品を企画開発し、村内産品の付加価値を高める。	芸西村 街かっぱ市 生産者グループ	・H23年10月産振補助金を活用し、リニューアルオープン ・営業時間の延長 ◆売り場面積を1.5倍に拡充し、花卉部門を中心として、惣菜・鮮魚部門等の売上増加と商品回転率を高め、収益の増加を図る。 ◆外販部門の継続雇用と、テイクアウト飲食部門の充実・拡充により、短期雇用を図る。  ・かっぱ市職員が農業創造セミナー等の研修会に積極的に参加(H23) ・産振アドバイザーの助言による試作商品の販売(H23) ・店内調理場での弁当等加工品の販売開始(H24.10~) ◆具体的な活動計画を作成するなど、サービス向上・売上増加に向けた意識の高揚が図られた。	・花卉出展量の確保 ・新商品の開発、新商品の原材料確保(サトウキビ等) ・商品集荷システムの構築 ・テイクアウト商品の充実	◆地域資源を活用した地域経済の活性化  ◆安定供給の仕組みづくり  ◆新たな商品の企画開発  ◆地域観光情報等の発信

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降		
<p>「かっぱ市」の機能の拡充</p> <p>加工場・飲食施設等整備の検討</p> <p>施設整備 着手</p> <p>生産・販売開始・加工品の充実</p> <p>安定供給の仕組みづくり</p> <p>花卉販売量の確保、集荷システムの構築 他</p> <p>新たな商品の企画開発</p> <p>地域資源共有会議等を活用した新商品の検討</p> <p>新商品の開発・販売開始</p> <p>効果的なPRの実施(ホームページの作成、スタッフブログ、定期的な催事の開催 他)</p> <p>地域観光情報等の発信</p> <p>観光情報等の発信施設としての役割を担うための検討</p> <p>インターネットの整備、情報発信コーナー設置(パンフレット等の配布)</p>					売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降		
<p>地域資源を活用した地域経済の活性化</p> <p>芸西村特産品加工施設(仮称)の検討</p> <p>施設整備 着手</p> <p>商品開発・販売</p> <p>安定供給の仕組みづくり</p> <p>花卉販売量の確保、集荷システムの構築 他</p> <p>新たな商品の企画開発</p> <p>地域資源共有会議等を活用した新商品の検討</p> <p>新商品の開発・販売</p> <p>効果的なPRの実施(ホームページの作成、スタッフブログ、定期的な催事の開催 他)</p> <p>地域観光情報等の発信</p> <p>観光情報等の発信施設としての役割を担うための検討</p> <p>インターネットの整備、情報発信コーナー設置(パンフレット等の配布)</p>					売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
21 イルカのふれあい体験による交流人口の拡大 【室戸市】	室戸ドルフィンセンターの待合施設やシャワー施設を備えた施設建設により、利用者満足度の向上、物販スペース等の拡大による事業売上げの向上を図る。また、陸上プール設置及びイルカ飼育頭数を増やすことによる体験者の増加を図る。	・NPO法人室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸市	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設等の充実(H21~23)</li> <li>広告宣伝の強化(H21~23)</li> <li>体験プログラムの見直し(H22~23)</li> <li>◆広報の強化、施設の充実等により、高額プログラムであるドルフィンスイムの参加者が大幅に増加、それに伴い、事業収入が増加し運営の安定の土台が築けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオパーク等地域の観光素材を組み合わせた、情報発信</li> <li>・来場者の満足度の向上のための新たな施設整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆情報発信</li> <li>◆ドルフィンセンターの機能充実</li> </ul>

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果	課題	主な内容

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
情報発信					室戸ドルフィンセンター来場者数 (H22:22,181人)	25,000人
パンフレット・HP・旅行雑誌等での情報発信						
ドルフィンセンターの機能充実						
待合・シャワー室等を備えた施設整備						
陸上プール設置及びイルカ飼育頭数の増						



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
情報発信					室戸ドルフィンセンター来場者数 (H22:22,181人)	27,000人
パンフレット・HP・旅行雑誌等での情報発信						
ドルフィンセンターの機能充実						
待合・シャワー室等を備えた施設整備						
陸上プール設置及びイルカ飼育頭数の増						



修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
24 海の駅を拠点とした地域振興 【東洋町】	高知県の東の玄関口である東洋町に、観光拠点施設や地元特産品の販売・加工施設、飲食施設等の機能を付加した「海の駅」を整備することにより地域の活性化を図る。	東洋町	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報交換会の実施(H21~23)</li> <li>◆「海の駅」東洋町自体は順調に売上げを伸ばしており、平成22年度には施設を増築した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域産品を活用した加工品の確保</li> <li>観光拠点機能の付加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆海の駅の整備</li> <li>◆地域特産品を活用した加工品の開発・販売</li> <li>◆地域の情報発信</li> <li>◆高知県東部・徳島県南部等の道の駅との連携</li> <li>◆海の駅を拠点とした体験観光メニューの開発</li> </ul>

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組みと成果	課題	主な内容

修正後

第2期計画					指標及び目標			
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)		
海の駅の整備 整備内容の検討	施設の整備				来場者数 (H22:153,446人)	180,000人		
地域特産品を活用した加工品の開発・販売 加工品の検討・開発							加工品の販売・施設の充実	
地域の情報発信 町のHPを活用した情報発信							「海の駅」独自のHPの開設とそこからの地域情報の発信	
高知県東部・徳島県南部等の道の駅との連携 連携内容の検討							連携の実施	
海の駅を拠点とした体験観光メニューの開発 体験観光メニューの検討							体験観光メニューの開発	



第2期計画					指標及び目標			
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)		
海の駅の整備 整備内容の検討	施設の整備				来場者数 (H22:153,446人)	180,000人		
地域特産品を活用した加工品の開発・販売 加工品の検討・開発							加工品の販売・施設の充実	
地域の情報発信 町のHPを活用した情報発信							「海の駅」独自のHPの開設とそこからの地域情報の発信	
高知県東部・徳島県南部等の道の駅との連携 連携内容の検討							連携の実施	